

# 2024年3月期第2四半期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社  
取締役 専務執行役員 CFO

2023年10月30日



本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

# 目次

1. 事業概要
2. 2024年3月期第2四半期 連結決算概要
3. 2024年3月期 通期業績予想（連結）
4. 当社の取り組みについて

# 1. 事業概要

## 通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展



- ◆ モバイル市場 : 5G、5G利活用
- ◆ ネットワーク・インフラ市場 : データセンター、光NW、無線NW
- ◆ エレクトロニクス市場 : 基地局建設保守、電子部品、無線設備

## PQA事業

食の安全・安心



- ◆ X線検査機
- ◆ 金属検出機
- ◆ 重量選別機

## 環境計測事業



- ◆ EV・バッテリー向け試験
- ◆ ローカル5G、プライベート5G
- ◆ 道路、ダム・河川等のモニタリング

## その他



- ◆ センシング & デバイス
- ◆ その他

### (セグメント別売上比率)

2023年3月期 実績 (連結) : 1,109億円

通信計測 66%			PQA 22%	環境計測 6%	その他 6%
モバイル 51%	ネットワーク・インフラ 30%	エレクトロニクス 19%			

2024年3月期 (4-9月) 実績 (連結) : 509億円

通信計測 65%			PQA 23%	環境計測 6%	その他 6%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 35%	エレクトロニクス 20%			

### (通信計測事業 地域別売上比率)

2023年3月期 実績

日本 15%	アジア他 43%	米州 24%	EMEA 18%
--------	----------	--------	----------

2024年3月期 (4-9月) 実績

日本 13%	アジア他 38%	米州 28%	EMEA 21%
--------	----------	--------	----------

PQA : Products Quality Assurance

## 2-1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 2Q（7-9月）で受注高・売上高挽回も、上期では減収減益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	579	558	△ 21	△ 4%
売上高	540	509	△ 31	△ 6%
営業利益	54	29	△ 25	△ 46%
税引前利益	68	36	△ 32	△ 47%
当期利益	51	28	△ 23	△ 45%
当期包括利益	101	71	△ 30	△ 30%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

## 2-2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

▶ 通信計測とPQAは前年同期比減収減益、環境計測は増収増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
通信計測	売上高	363	331	△ 32	△ 9%
	営業利益	54	31	△ 23	△ 43%
PQA	売上高	119	117	△ 2	△ 2%
	営業利益	5	2	△ 3	△ 53%
環境計測	売上高	23	30	7	33%
	営業利益	△ 4	△ 2	2	-
その他	売上高	34	30	△ 4	△ 12%
	営業利益	4	3	△ 1	△ 19%
調整額	営業利益	△ 5	△ 5	△ 0	-
合計	売上高	540	509	△ 31	△ 6%
	営業利益	54	29	△ 25	△ 46%

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

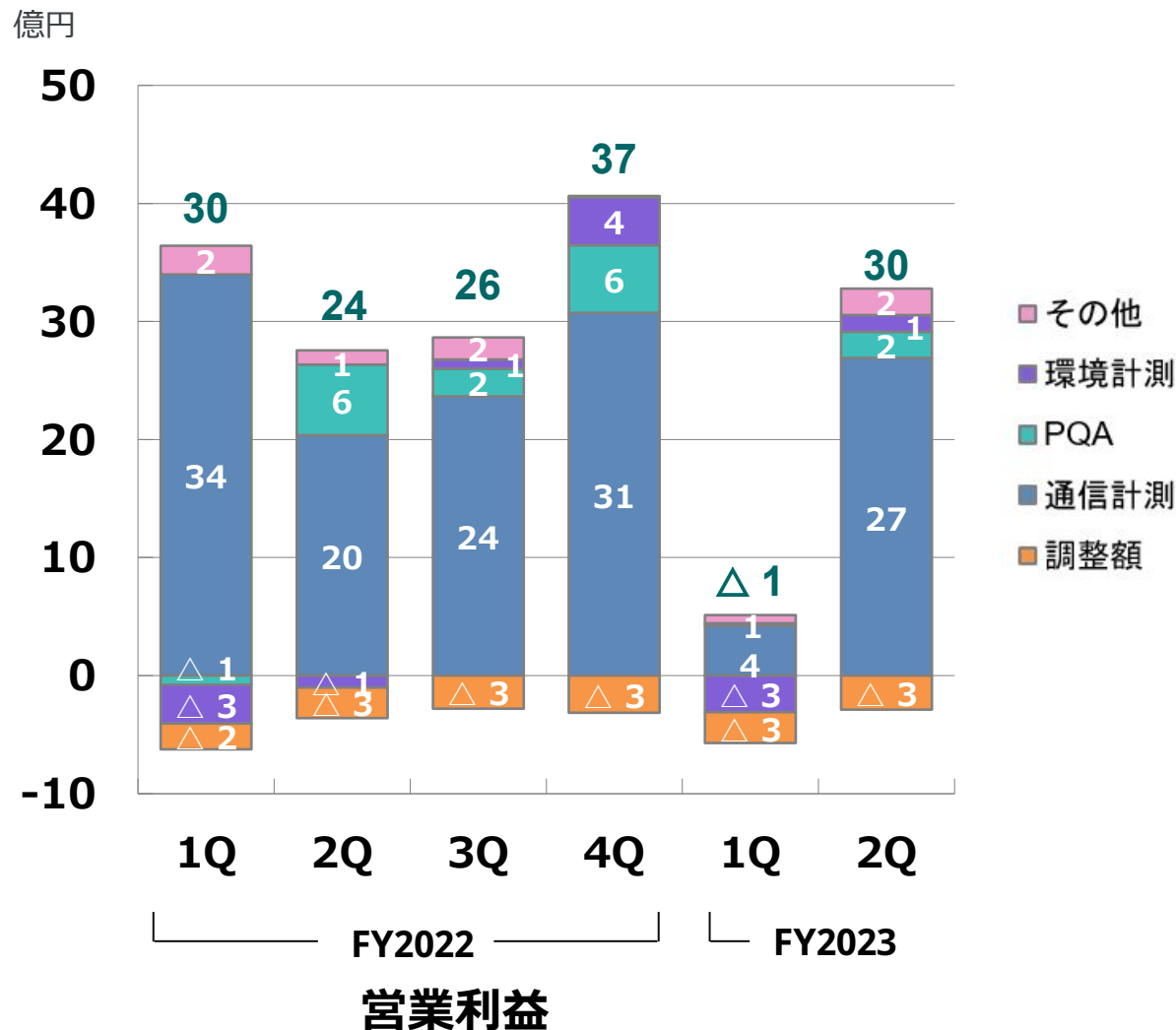
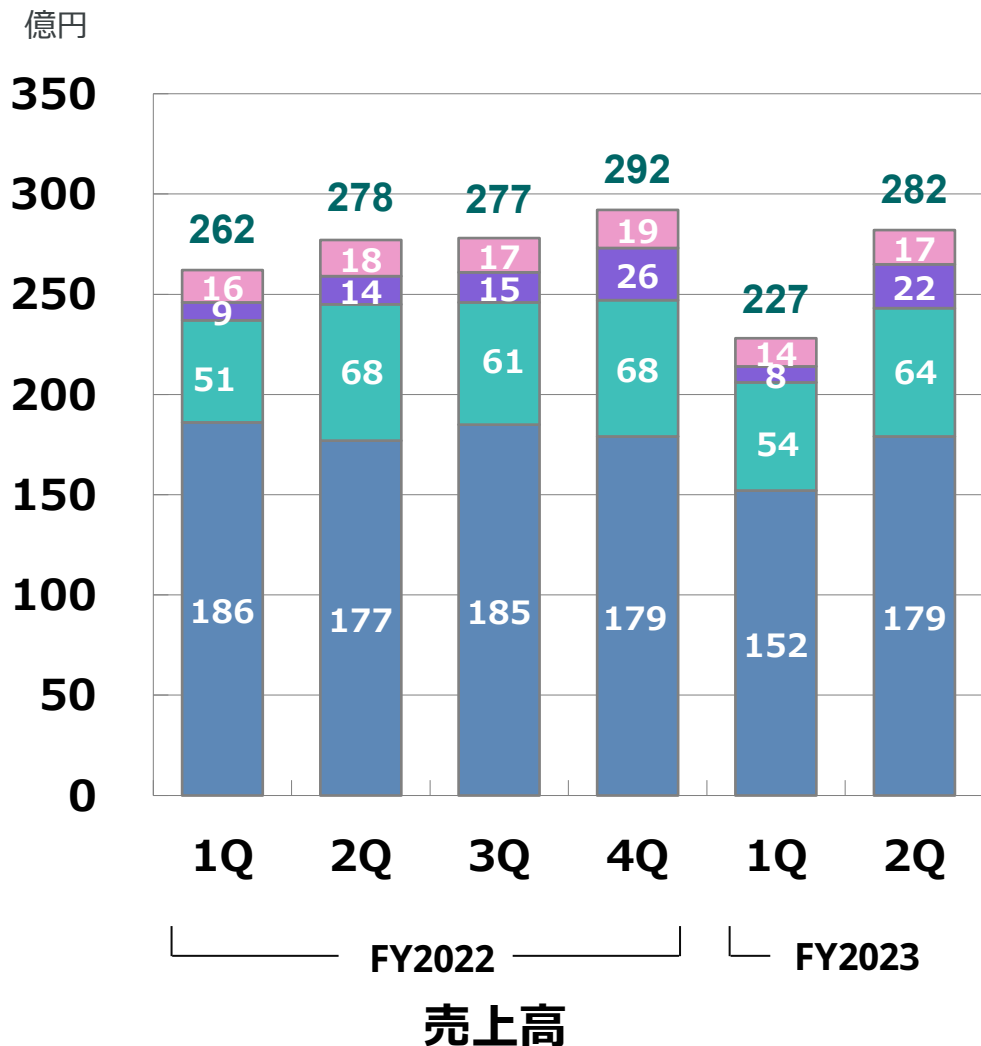
(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

PQA : Products Quality Assurance

## 2-3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 2Q(7-9月)では、前年同期比 連結で増収増益

営業利益率：通信計測 15.0%、PQA 3.5%、環境計測 6.4%



(注) 値はそれぞれで四捨五入

### セグメント 2024年3月期（4-9月）の状況

➡ 通信計測：世界的な物価、人件費上昇等で止まっていた設備投資が再開  
固定ネットワークの高速化需要は順調

モバイル	アメリカと台湾にて5G開発市場の投資が再開
ネットワークインフラ	グリーンデータセンターや生成AI専用のデータセンターの構築が加速
エレクトロニクス	6G基礎研究がスタート
アジア他・日本	中国のスマホ市場の回復に遅れ
アメリカ	固定ネットワーク高速化への投資は順調 生成AI等の好調によりデータセンター市場が活況

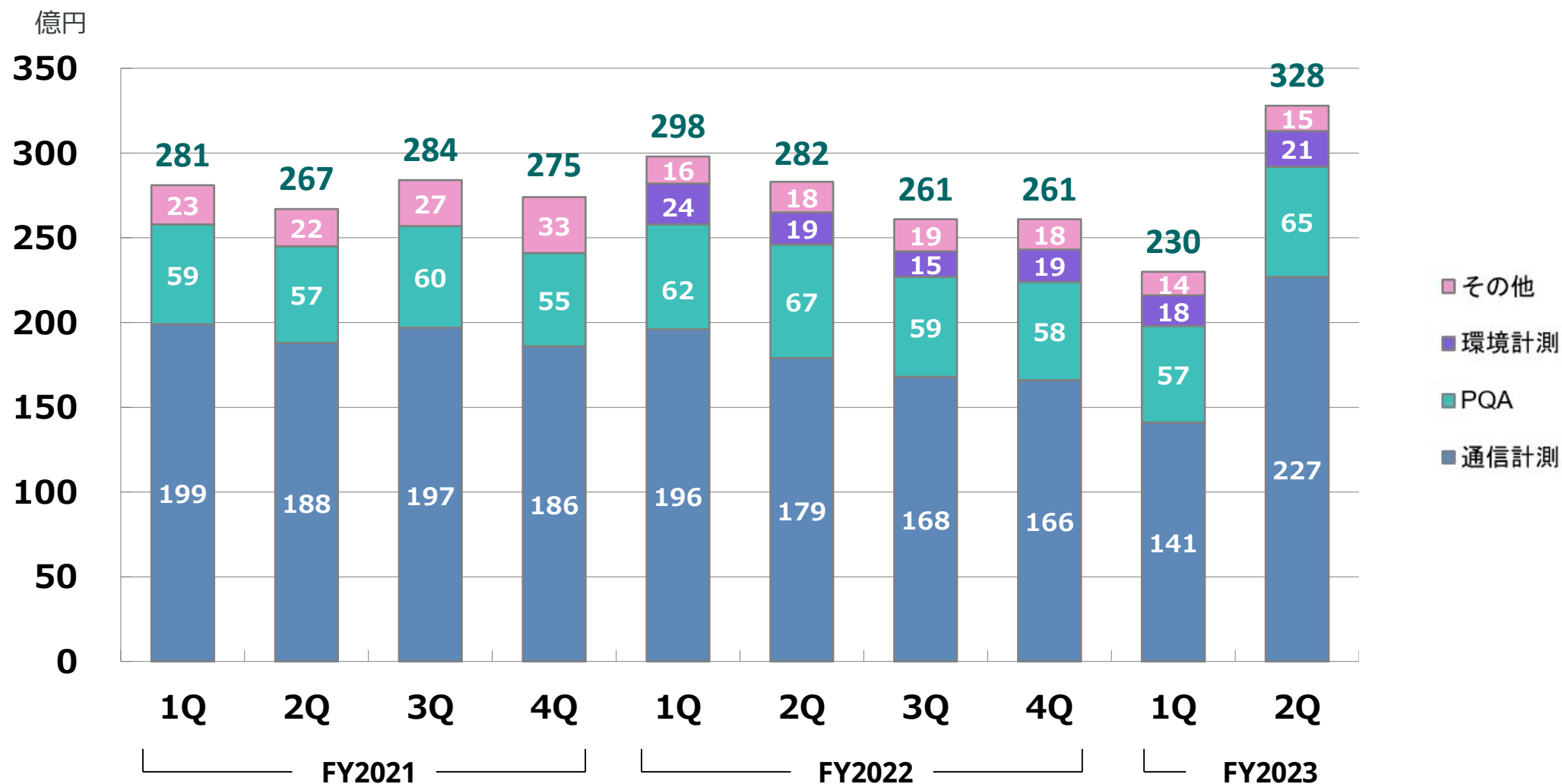
➡ PQA：欧米の食肉市場が堅調。自動化、省人化の動きが活発化

➡ 環境計測：EV・バッテリー向け試験装置の需要が堅調



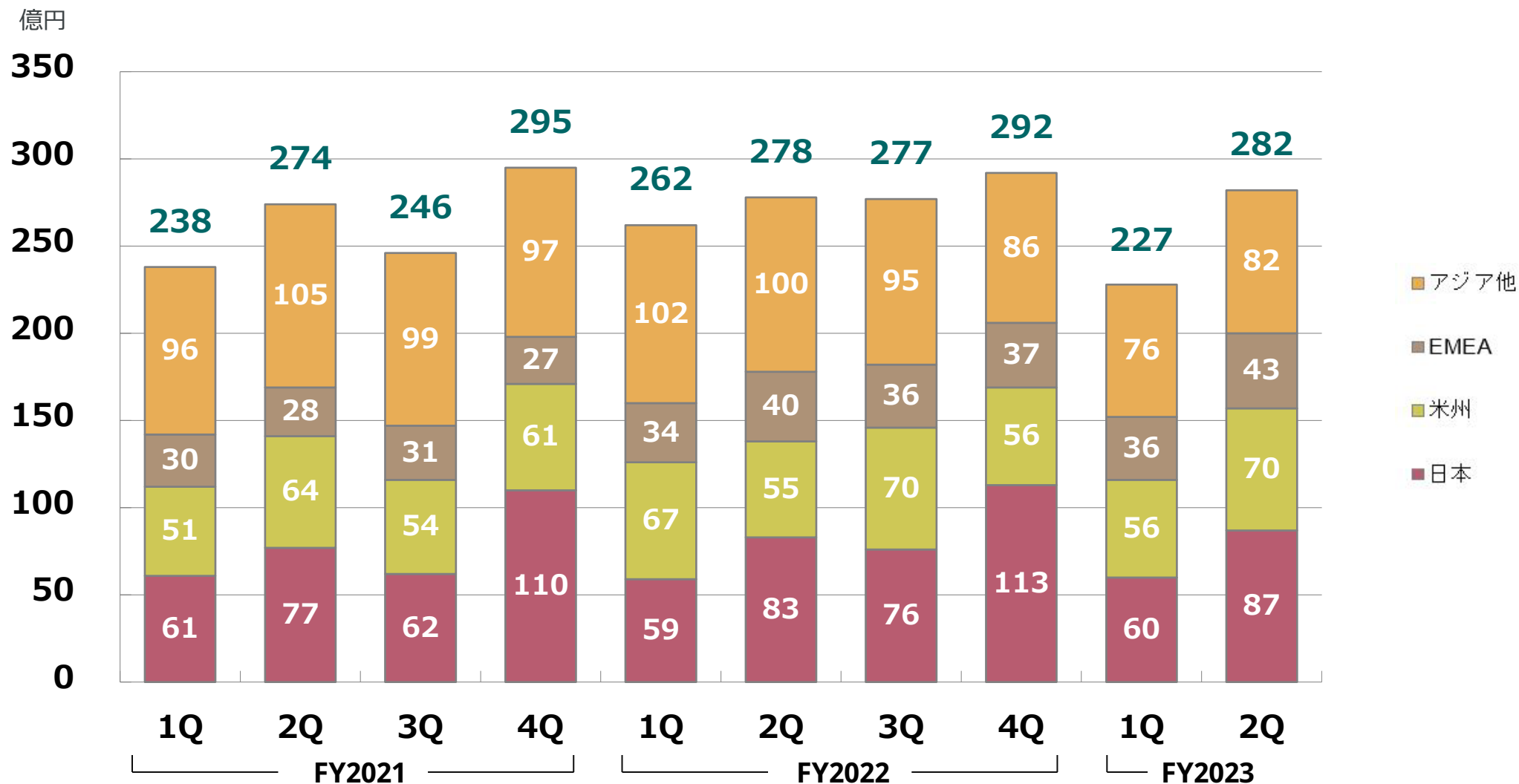
## 2-5. 受注高推移

▶ 前年同期比 通信計測：27%増、PQA：3%減、環境計測：11%増



(注) 値はそれぞれで四捨五入

## 2-6. 地域別売上高推移



(注) 値はそれぞれで四捨五入

## 2-7. キャッシュフロー

▶ 営業CFマージン率 15.6%

### FY2023 (4-9月)

- ① 営業CF : 79億円
- ② 投資CF : △19億円
- ③ 財務CF : △33億円

### フリーキャッシュフロー

(① + ②) : 60億円

### 現金同等物期末残高

414億円

### 有利子負債高

74億円

(注) 値はそれぞれで四捨五入

### 内訳

(単位：億円)

その他	29		
売上債権	13		
減価償却	30		
税引前利益	36		
税金	△10	設備投資	△13
仕入債務	△19	その他	△6
			配当金
			△26
			その他
			△7

営業CF 79

投資CF △19

財務CF △33

### 3. 2024年3月期 通期業績予想（連結）

▶ 2023年4月28日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正  
 配当は、期初計画とおり1株当たり年間40円を予定（期末配当：20円）

（単位：億円）

		2023/3期		2024/3期		
		前期実績	通期予想		前期比	
			4/28発表	10/30発表	増減額	増減率(%)
売上高		1,109	1,155	1,115	6	1%
営業利益		117	137	109	△ 8	△ 7%
税引前利益		124	137	114	△ 10	△ 8%
当期利益		93	100	85	△ 8	△ 8%
通信計測	売上高	728	740	710	△ 18	△ 2%
	営業利益	109	120	93	△ 16	△ 14%
PQA	売上高	248	260	260	12	5%
	営業利益	13	16	16	3	20%
環境計測	売上高	64	90	80	16	25%
	営業利益	1	6	5	4	872%
その他	売上高	69	65	65	△ 4	△ 6%
	営業利益	6	5	5	△ 1	△ 11%
調整額	営業利益	△ 11	△ 10	△ 10	1	-

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入（前期比増減額を除く）

（参考） FY22 実績為替レート : 1米ドル135円、1ユーロ141円  
 FY23 H1実績為替レート : 1米ドル141円、1ユーロ153円  
 FY23 H2想定為替レート : 1米ドル140円、1ユーロ150円

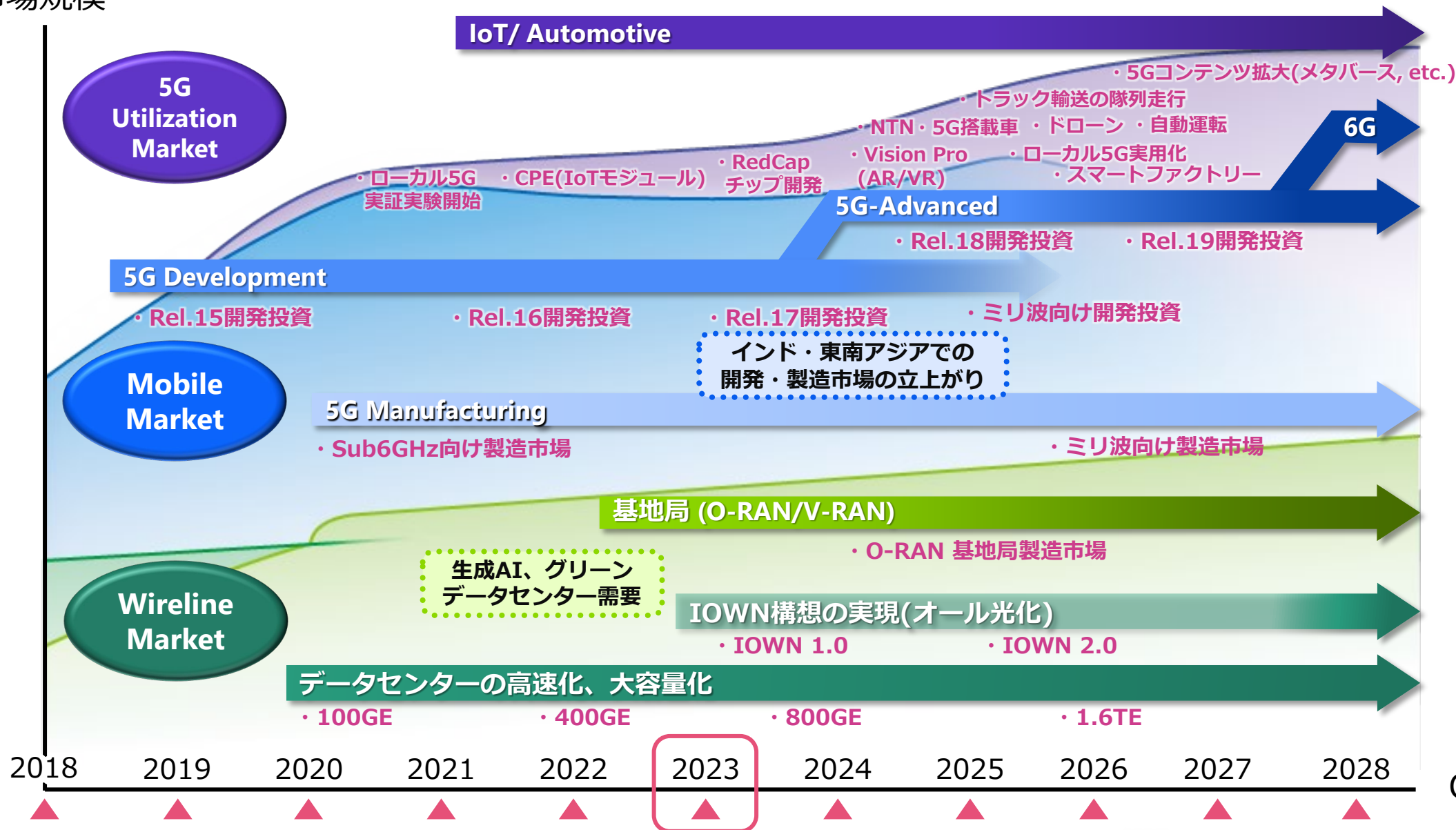
# 4. 当社の取り組みについて

濱田 宏一

アンリツ株式会社  
代表取締役 社長

# 4-1. 通信計測市場トレンドと事業機会

市場規模

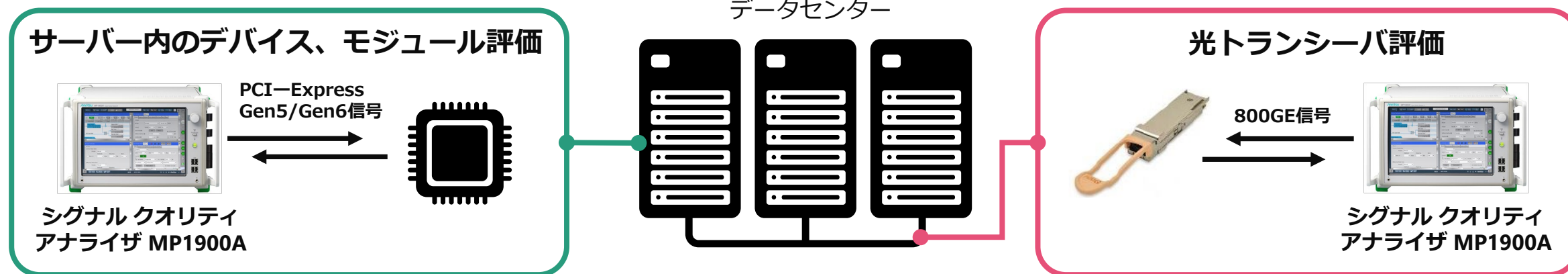


(CPE: Customer Premises Equipment、顧客構内設備)

### 生成AIの普及によるデータセンターの大容量化に伴うデバイス/モジュール評価に対応

- ・ PCI-Express Gen5→Gen6  
伝送容量が2倍

- ・ 100GE→400GE→800GE  
サーバー間の光インターフェース高速化



#### ■ 特徴

- ・ 100GE/400GE/800GE対応、PCI-Express Gen5/6対応

#### ■ 対象市場

- ・ GPU/CPU、高速光通信デバイス/モジュールの開発市場

#### ■ 対象顧客

- ・ チップベンダ、光トランシーバベンダ、ネットワーク機器ベンダ、ハイパースケーラー

## 320MHzの広帯域のWi-Fi 7デバイスを評価

### 無線品質試験



#### ■ 特徴

- Wi-Fi 7のプロトコルを搭載、実環境での通信品質評価を実現
- 標準規格 IEEE802.11 b/g/a/n/ac/ax/be(Wi-Fi 7)に準拠。幅広い無線LAN機器の評価に対応
- かんたん操作で、ライトユーザ層から専任の無線技術者まで幅広く貢献

#### ■ 対象市場

- スマートフォン、宅内ルータ・ゲーム機・家電などIoTデバイス、通信モジュールの開発・製造市場

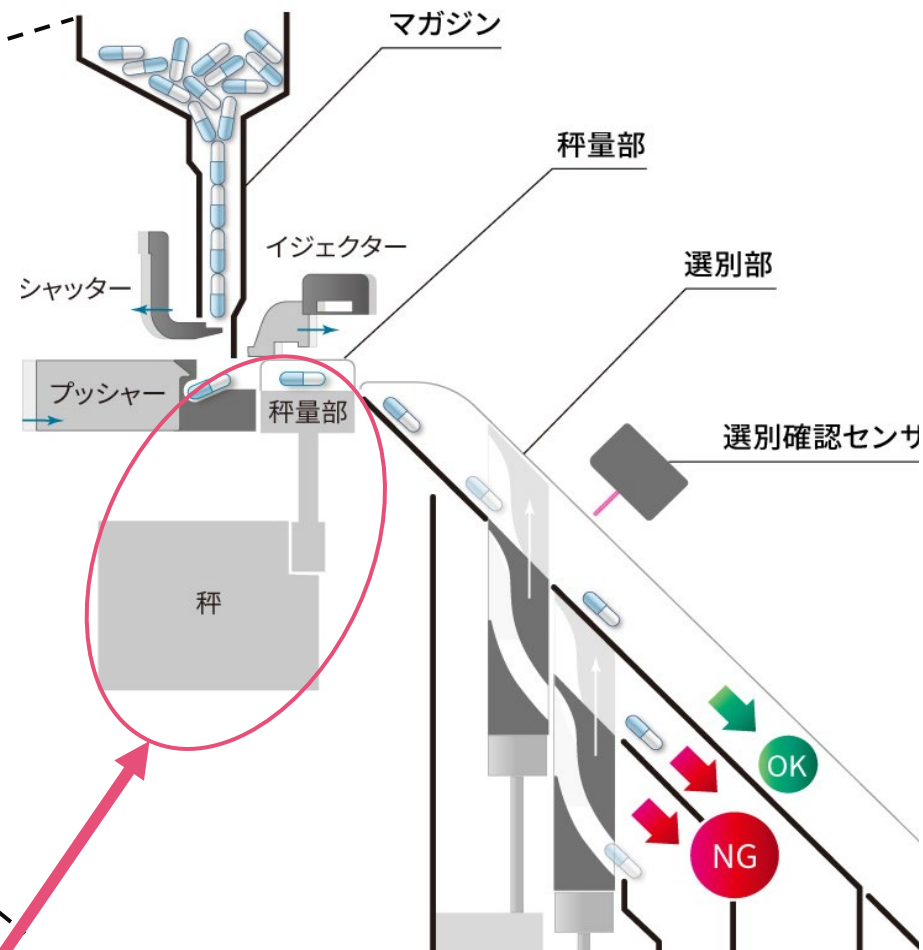
#### ■ 対象顧客

- スマートフォンベンダ、IoTデバイスベンダ、モジュール・チップベンダ



## 医薬品向け高精度カプセルチェッカー

オートチェッカ（重量選別機） KWS9002APシリーズ



### ■ 特徴

カプセル医薬品の重量を高速・高精度で全数検査

- ・高性能フォースバランス秤は $\pm 0.5$  mgの高精度を実現（業界最高ランク 最高測定精度\*）

### ■ 対象顧客

- ・製薬会社

\* 当社調査結果による

### 高速・高精度を極限まで追求した重量選別機

オートチェッカ（重量選別機）KWA7000シリーズ



600個/分→**1,000個/分**（世界最高クラスの選別スピード\*）

#### ■ 特徴

- ・ 最高選別能力1,000個/分、最高選別精度 $\pm 0.006\text{g}$ を実現\*

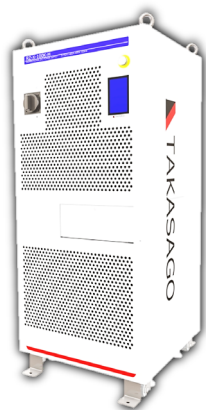
#### ■ 対象顧客

- ・ 菓子メーカー

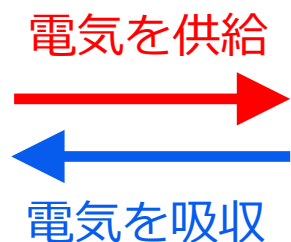
\* 当社調査結果による

## EVのパワートレイン評価やバッテリーの試験をサポートする高性能電源

### バッテリー充放電試験



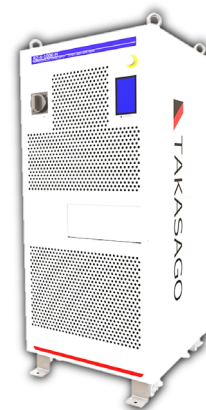
RZ-X2-100K



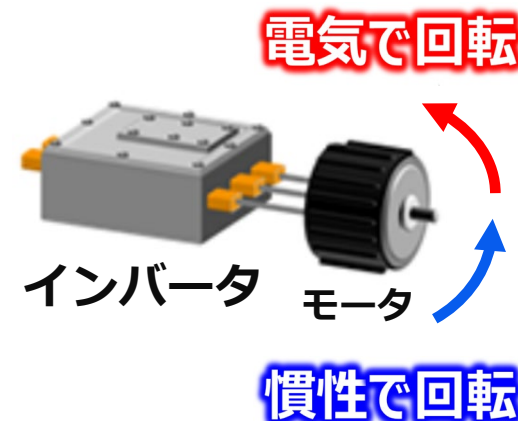
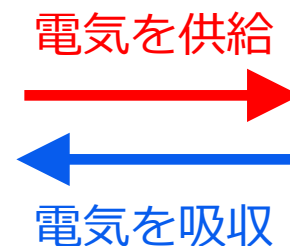
バッテリー



### インバータ特性試験



RZ-X2-100K



### ■ 特徴

- モータ、インバータの特性試験やバッテリーの充放電試験に1台で対応
- 高精度、高速応答、高安定、高効率な電力制御により実環境を模擬した評価が可能

### ■ 対象顧客

- 自動車メーカー、自動車部品メーカー、バッテリーメーカー

# 4-7. CEATEC 2023に出展

## CEATEC



### アジア最大級 デジタル技術の総合展示会

会期：2023年10月17日～10月20日  
会場：幕張メッセ（千葉市）  
出展者数：684社／団体

### アンリツブースの概要

#### テーマ

「はかる」が創る持続可能な未来

#### 見どころ

4つのカンパニーと研究所の社会課題  
解決に役立つ製品やソリューション  
を5つのエリアで紹介

#### ブース来訪者数

1,398人（昨年の約4倍）

**自動車：**  
EV、PHVの性能向上を支える  
ハイブリッド電源などの展示



**医療：**  
眼科診断機器組み込み用  
センシング光源の展示

**5G利活用：**  
自動バレーパーキング（AVP）  
評価システム（dSPACE社との  
協業）の展示



**食品：**  
食品製造ラインでの異物混入や  
形状不良、数量不足などを  
検査するX線検査機の展示



**次世代技術の研究：**  
6Gに向けた研究などを  
パネル展示

**Anritsu**  
Advancing beyond

